

高校生チャレンジ2024 Q&A

番号	項目	Q	A
1	応募資格	プロジェクトで収益が発生する場合、また企業とコラボした際、コラボ先の企業に収益が発生する場合は応募可能か。	応募可能。ただし選考時に提出する収支予算見積書の中で収入の見込みを明示してほしい。ただし収益に関して他者との問題が生じた場合は、応募者の責任となる。
2	補助金	机や椅子、PCの購入代は補助金の対象になるか。耐久性のある備品等の購入費にあたるかどうか疑義が生じている。	チャレンジの提案内容を実現するために必要であるか否かということが購入の適否のポイントになる。したがって選考時に提出する資料の中でどのような目的で使用するのかを明示してほしい。
3	補助金	募集要項に飲食費は補助金の対象経費としないとあるが、食育など飲食をテーマとする場合に応募可能か。	応募可能。ただしチャレンジの提案内容を実現するために必要であるか否かということが補助金の対象経費となるかのポイントになる。したがって選考時に提出する資料の中でどのような目的で使用するのかを明示してほしい。
4	その他の注意事項	プロジェクトの実施にあたり、高校教員の同行は必須か。	必須ではない。
5	その他の注意事項	チャレンジ採択後に、新規メンバーをチャレンジャーとして追加することは可能か。	採択後にチャレンジャーを追加することは想定していない。あくまで採択したメンバーをチャレンジャーとして扱うことになる。

高校生チャレンジ2023 Q&A

番号	項目	Q	A
1	応募方法	グループ応募の場合、全員分の保護者同意書が必要か。	必要。
2	応募資格	グループ応募の場合、全員が福岡県内に在住している必要があるか。	全員について、県内の高校に在籍しているか、県内に在住している必要がある。
3	応募資格	グループで応募する場合、人数の制限はあるか。	制限はないが、個人の自発的な活動を応援するため、大規模ではなく複数人の集まりを想定している。

4	応募資格	過去に採択された者が、再度応募することは可能か。	新たなチャレンジプランもしくは既存のプランに新規の要素が含まれている場合に応募可能。
5	二次選考	プレゼンテーション審査は何名まで参加可能か。	会場の都合によりパワーポイント操作者含めて最大3名でプレゼンテーションしてほしい。 1名程度の見学は可能。
6	二次選考	プレゼンテーション審査は教師の同席が可能か。	No6掲載の範囲内で可能。
7	補助金	グループの場合、補助金の交付先はどうなるのか。個人口座に振り込まれるのか。	採択者の希望によるが、代表者個人の口座に振り込むことも可能。
8	補助金	収支予算書で、調査のための交通費を計上してもよいのか。	計上してよい。
9	サポーター	チャレンジサポーターの希望がある場合、応募時に相手の了承が必要か。	不要。
10	サポーター	専門家の当てがえない場合にはどなたか紹介してくれるのか。	採択者に希望をヒアリングし、これに合致した専門家を主催者で選定する。
11	その他の注意事項	学校がSNSの利用が禁止なのだが、応募可能か。	応募可能。ただし主催者との連絡が取りづらい、広報活動が行いづらいといった事業実施上のデメリットが予想されるため、二次審査を通過し採択になった場合の連絡方法については学校と協議してほしい。
12	その他の注意事項	学校が携帯電話やタブレットなどの連絡ツールの持ち込みが禁止なのだが、応募可能か。	応募可能。ただし主催者との連絡が取りづらい、広報活動が行いづらいといった事業実施上のデメリットが予想されるため、二次審査を通過し採択になった場合の連絡方法については学校と協議してほしい。